

アンケート調査結果

1. アンケート調査の概要

(1) 調査の概要

名称	歴史・文化・自然に関するアンケート調査
目的	・文化財に対する市民の意識調査による課題の把握 ・総合的な文化財リストの作成に向けた未指定を含む文化財の現状確認
実施期間	令和3年12月1日から22日（郵送分は当日消印有効）

(2) 対象・方法

調査対象は、無作為に選んだ一般市民（佐伯市在住 19 歳以上、地区代表（区長）、民俗芸能団体代表、郷土史愛好家）と市内の高校3年生、中学3年生、小学6年生とした。調査内容はアンケート用紙を一般向けと小・中学生向けの2種類作成した。回答はWEBでの回答も受け付けることとし、小中高生は全てWEBでの回答である。

対象	人数	内容	回答方法
一般（佐伯市在住 19 歳以上、地区代表（区長）、民俗芸能団体代表、郷土史愛好家）	2000 人	一般向け	用紙に記入 もしくは WEB 回答
高校3年生	582 人		小・中学生向け （学校から案内）
中学3年生	486 人		
小学6年生	554 人		

(3) 回収率

回収率は、一般が 38.5%、高校生が 49.3%、小中学生が 81.9%となっており、学校から案内した小中学生からの回収率が最も高い。なお、全体での回収率は 52.7%と半数を超える結果となった。

対象	送付件数	回答者数	回収率
一般（佐伯市在住 19 歳以上、地区代表（区長）、民俗芸能団体代表、郷土史愛好家）	2000 人	769 人	38.5%
高校3年生	582 人	288 人	49.3%
小中学生	1040 人	中学3年：360 人	81.9%
		小学6年：481 人	
		無回答：11 人	
全体総計	3622 人	1909 人	52.7%

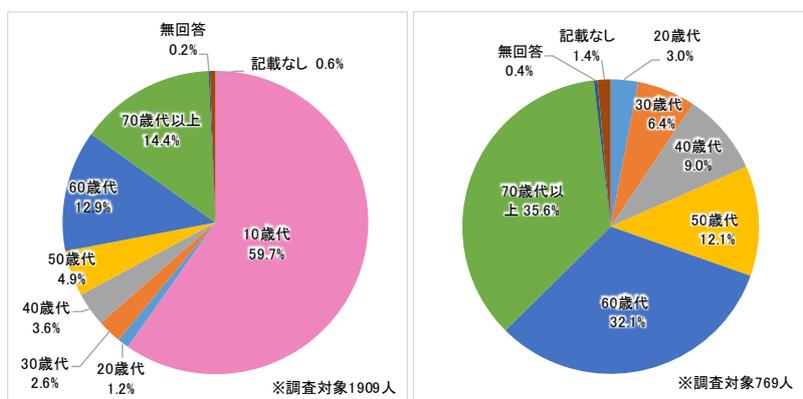
(4) 分析条件

アンケートは、小中学生向けと一般向けの2種類作成しており、その設問内容も異なっている。今後を担う若い世代の意識を分析するため、設問内容が同じ場合は基本的に小中学生、高校生、一般の3パターンでの分析とする。

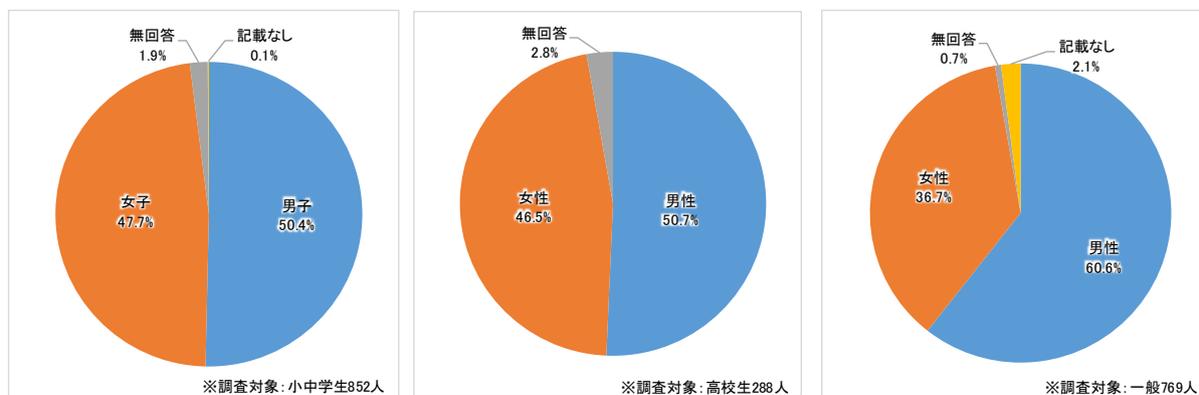
2. アンケート調査の結果

(1) 回答者の属性

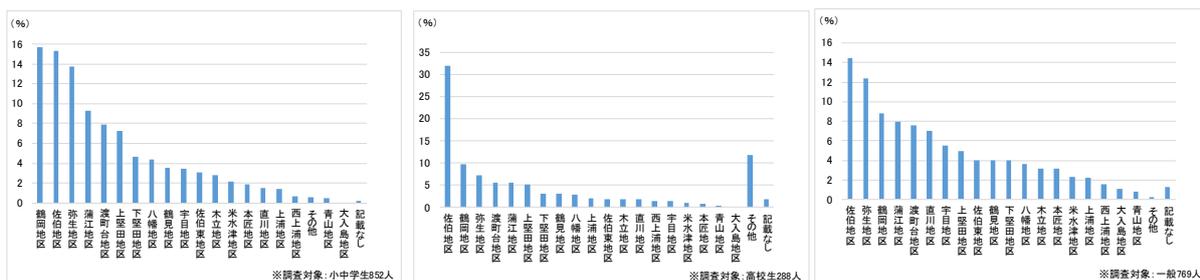
年齢別の割合は、全体の割合では、学校現場から直接案内をした小中高校生10歳代が約60%と最も多く、次いで70歳代が約15%である。小中高校生10歳代を除いた一般の年齢別の割合では年齢が若くなるにつれて減少しており、20歳代は3%である。いわゆる現役世代(20~50歳代)の回答者は30.5%という結果となった。



また、回答者の男女の割合はほぼ5割であったが、一般の回答者は、男性が6割となった。

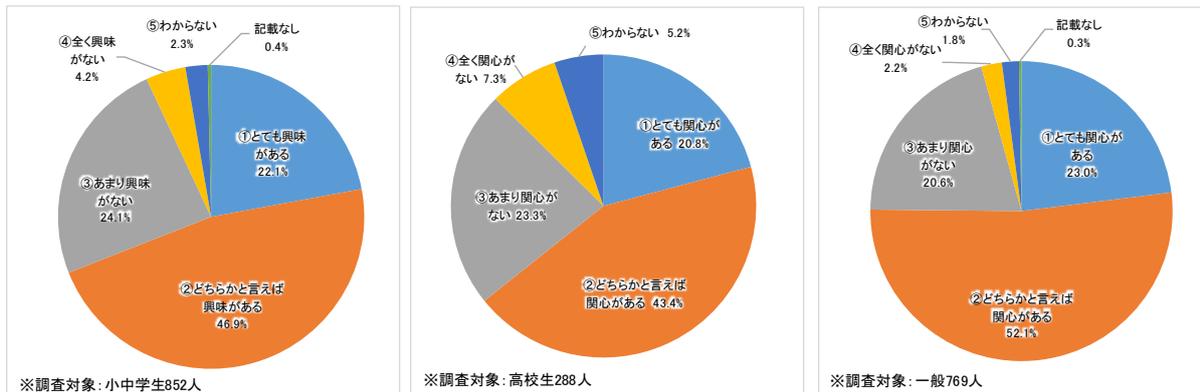


回答者の地区別の割合は、全世代が佐伯、鶴岡、弥生地区に集中しており、青山、本匠、西上浦地区と離島の大入島地区は少ない結果となった。



(2) 歴史・文化・自然に対する興味

問2. あなたは「歴史・文化・自然」に興味がありますか。

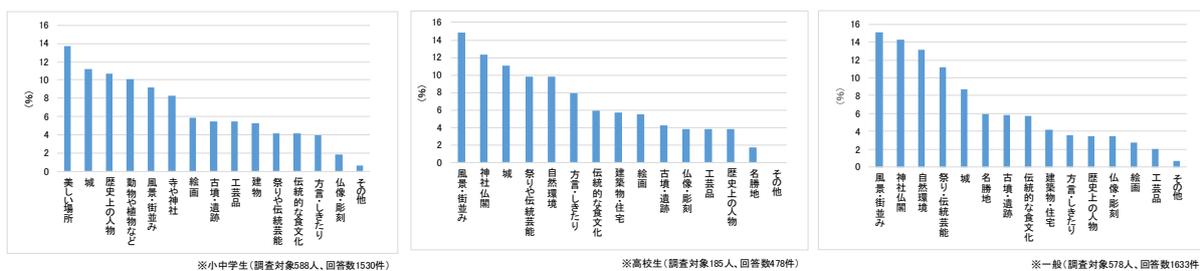


対象	肯定的意見 (①と②)	否定的意見、その他 (③～⑤及び記載なし)
小中学生	69.0% (588人)	31.0%
高校生	64.2% (185人)	35.8%
一般	75.1% (578人)	24.9%

「歴史・文化・自然」に対する興味については、肯定的意見が7割前後であり、多くの市民が「歴史・文化・自然」に対して関心がある結果となった。

肯定的意見 (①もしくは②) の回答者には、問3へ、否定的意見、その他 (③～⑤及び記載なし) の回答者には問4へ回答していただいた。

問3. あなたが興味のある「歴史・文化・自然」はどれですか (複数回答可)。

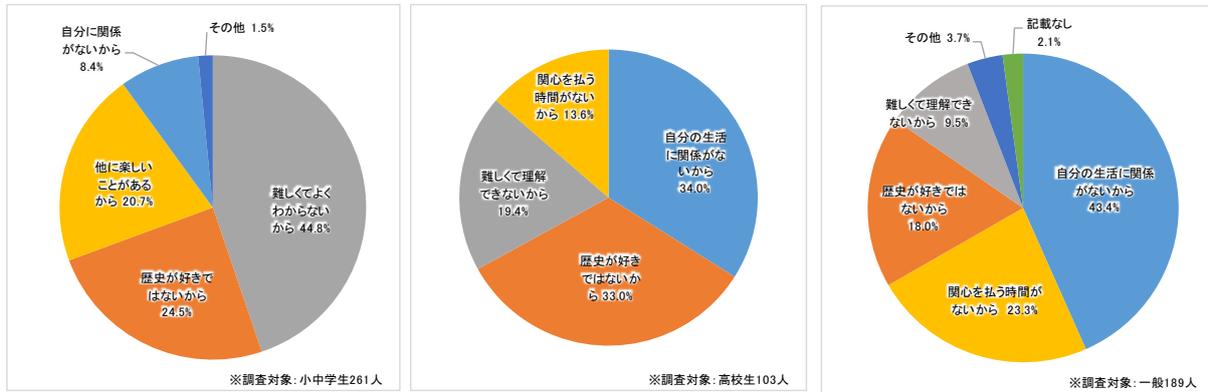


興味のある「歴史・文化・自然」は、全世代を通して「風景・街並み」や「自然環境」、「城」が上位となる傾向にある。年齢別では、小中学生が「美しい場所」、「城」、「歴史上の人物」が多い結果となった。一方、「祭りや伝統芸能」、「伝統的な食文化」、「方言・しきたり」、「仏像・彫刻」などは少ない結果となった。小中学生には無形文化財、無形民俗文化財や仏像・彫刻に文化財としてのなじみが少ないものと考えられる。

また、高校生及び一般の回答としては、「風景・街並み」、「神社仏閣」、「城」、「自然環境」、「祭りや伝統芸能」が上位に来る結果となった。一方、「絵画」、「仏像・彫刻」、「工芸品」のような有形文化財 (工芸品) は少ない結果となった。

問4. あなたが「歴史・文化・自然」に興味がないのは、どのような理由からですか。

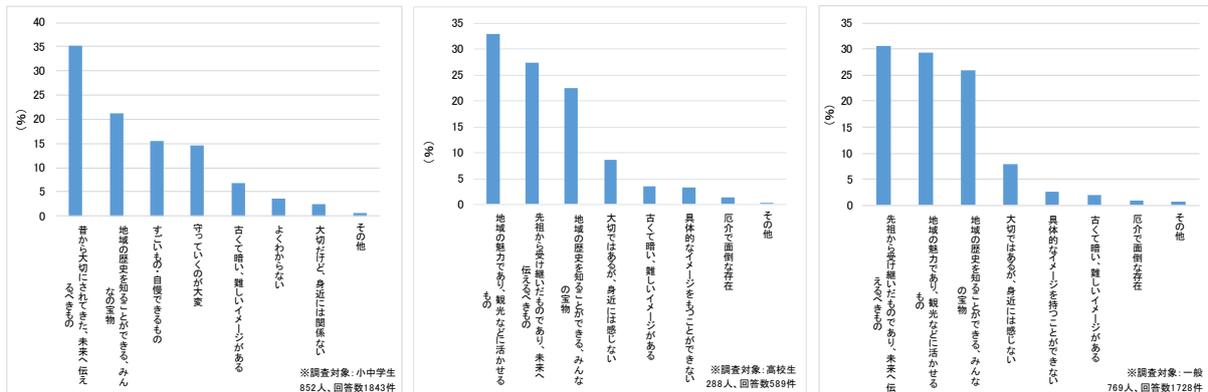
問2で否定的意見、その他(③～⑤及び記載なし)の回答者には、「歴史・文化・自然」に興味がない理由を回答していただいた。



小中学生では「難しくよく分からないから」や「歴史が好きではないから」の理由が約7割を占めている。一方、高校及び一般では「自分の生活に関係が無いから」が最も多く、一般では「興味を払う時間がないから」が2番目に多く社会人ならではの回答でもあると推測できる。

(3) 歴史・文化・自然に対するイメージ

問5. 「歴史・文化・自然」のイメージは何ですか (複数回答可)。

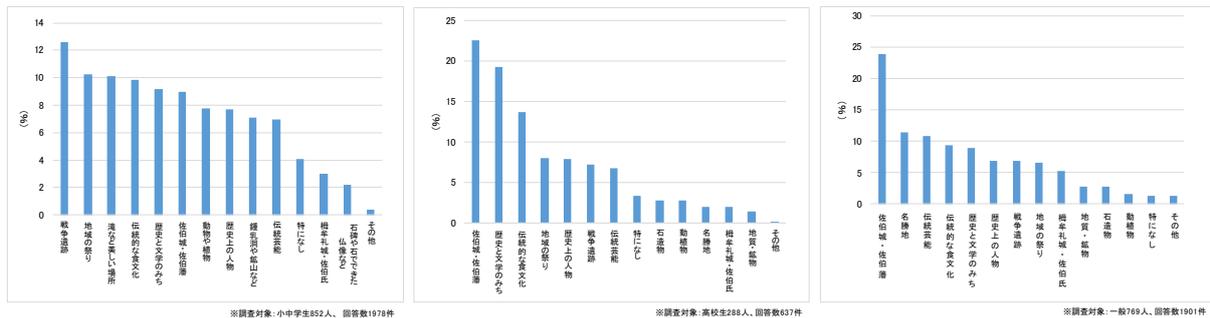


小中学生では、「宝物、自慢できるもの」などの肯定的な意見が大半を占めた。一方で「すごいもの・自慢できるもの」とほぼ同率で「守っていくのが大変」という意見が見られた。「歴史・文化・自然」に対する理解があるものの保存や維持管理の難しさに対する理解もあるものと考えられる。

高校生及び一般では、件数や順位に違いはあるものの、「歴史・文化・自然」に対するイメージの上位3項目が一致する結果となった。高校生では、「地域の魅力」が最上位、一般では「未来へ伝えるべきもの」が最上位となっており、回答者の年齢による意識の差が順位の違いを生んだものと考えられる。

(4) 佐伯市の「歴史・文化・自然」に対するイメージ

問6. 佐伯市の「歴史・文化・自然」と聞いて頭に浮かぶものは何ですか（複数回答可）。

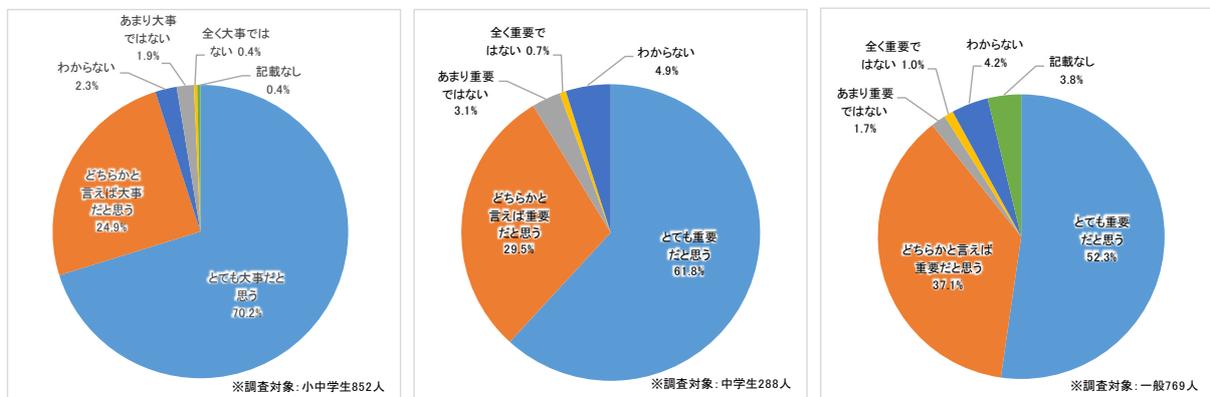


小中学生では、「戦争遺跡」が最も多く、次いで「地域の祭り」、「滝など美しい場所」、「伝統的な食文化」という結果となった。高校生及び一般では、「佐伯城・佐伯藩」が圧倒的に多い結果となった。一方、「梅牟礼城・佐伯氏」、「石造物」、「地質・鉱物」は、全世代で少ない結果となった。

問6で特筆すべきは、小学生の回答において、「問3. あなたが興味のある「歴史・文化・自然」はどれですか。」に対して「祭りや伝統芸能」、「伝統的な食文化」と答えた人数が少なかったものの、佐伯市の文化財のイメージとして認識していることが分かったことと、「戦争遺跡」が多くの小中学生が佐伯市の「歴史・文化・自然」のイメージとして認識しているという点である。

(5) 佐伯市の「歴史・文化・自然」に対する意識

問7. 佐伯市の「歴史・文化・自然」を大切にしていくことは大事だと思いますか。



この設問に対しては、小中学生の約 95%、高校生及び一般の約 90%が「とても重要だと思ふ」または「どちらかと言えば重要だと思ふ」の肯定的な意見であった。

世代や文化財に対する理解・興味の有無に関わらず、佐伯市民の意識として、「歴史・文化・自然」を大切にしていくことは大事であると考える人が多いと言える。

問8. 問7で答えた理由をご自由にお書きください。

高校生（一部抜粋）

肯定的意見（①、②を選んだ人）	否定的意見（③～⑤を選んだ人）
<ul style="list-style-type: none"> ・自然を見てると心が癒される ・佐伯市の誇れるものは自然豊かな街の景観だと思うから ・今の私たちが伝統や歴史について知っているのは、前の世代の人々が伝えてきたからであり、その流れを止めないことが我々の使命だと思うから ・私たちの築いた知識や歴史などを後世の人達に残すことはとても重要だと思ったから ・これまで先祖の皆さんが大切にしてきたものだと思うから。未来の子供に歴史を伝えていかなければいけないから。 ・今までで受け継がれてきた文化があるからこそ今があるから。今ある佐伯市はその歴史、文化、自然のおかげだから。 ・大切に守っていき若い世代に素晴らしさを知ってもらうことで、地元に戻ってきてくれる人が増えると思うから ・佐伯に来る観光客は佐伯の自然や歴史に興味あって訪れていると思うので、観光資源として守っていく必要があると思います ・佐伯にしかないものは、佐伯を賑わせるから ・佐伯市の特色であり佐伯市をもっと知るために必要なものだから ・佐伯は人口が少ないと思うが、その代わりに自然を大切に、観光客が来れるようにしていって良いと思ったから ・歴史文化自然は、暮らしの中で密接な関係があるので大切にしていかなければならないと思いました ・佐伯市の海の幸や歴史と文学の道、城跡など、後世に伝えていった方が良いものが沢山あるため ・昔のことを学ぶ助けになるから ・歴史、文化、自然を大切にすることで、より良い未来へと繋がると思ったからです ・佐伯市には歴史的な建造物や食文化があり、未来に受け継いでいかないといけないと思うから 	<ul style="list-style-type: none"> ・難しいしあまり興味が無いから ・私自身があまり興味を持っていないから ・他にいいところがあるはずだから ・佐伯のことをまだあまり知らないから ・お城も残ってないし、城下町らしさもあんまりなく、歴史と文学の道も何がしたいのかわからないし短いから！ ・あまり歴史がないから ・残していくのも大切だけど、時代に合わせて変化させていくことも大切だと思ったから ・新しくなったほうが良いと思う

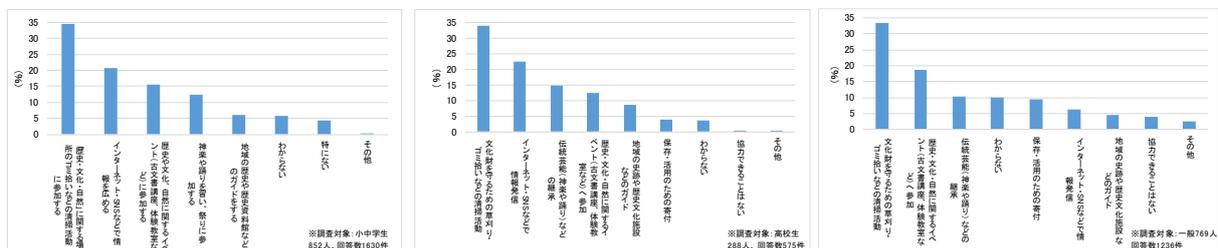
一般（一部抜粋）

肯定的意見（①、②を選んだ人）	否定的意見（③～⑤を選んだ人、記載なし）
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史など知っている人が少なくなっていると思うので、今のうちに聞いて、佐伯の良さを子どもたちに伝えておきたい ・自分の住んでいる場所を誇りに思えるから ・歴史・文化・自然を大切にできる人達は、心も豊かであるから、住んでいる人間も素敵なんじゃないかなと思う ・伝統芸能、神楽の後継者が不足している ・佐伯市民にとってのアイデンティティ ・歴史、文化、自然を通じて人と人とのつながりが出来ていると思う ・次の世代に継承し、佐伯市民としての意識を向上するために必要と思う ・大切にしないということは、故郷を失うような気がしたから ・住んでいる所の自然を大事にする事が地球の環境保護につながっていくので、将来子供達に残す大きな財産になると思います ・先祖から受け継いで、保護していくことは大切なことである。また、方言や伝統的なしきたりなども郷土愛のひとつとして伝えていくべきである ・観光に活かせるだけでなく、昔の人々の考え方や生きざまを知る事は、現在に生きる人々の生き方の参考になるものだと考えるから。先人達の思い、体験を伝承することは重要である。 ・郷土愛を高め、地域で生きていく力を深め、他地域の人々にアピールし、佐伯市へ人流を集める手法にも活かせることにつながる ・佐伯で生まれ育った自分にとって佐伯程大切な場所はありません。佐伯の「歴史・文化・自然」を大切にすることは自分への誇りでもあり自分の原点でもある。佐伯の宇目の地で生まれ生活できる事を幸せに思います ・市の宝物です ・先人の歴史を身近なものとして理解ができる。子孫に佐伯の文化財の重要性を伝えていける。 ・きれいな水と豊かな緑のある環境が佐伯市の誇りと思っています ・先人たちが守って残してきた有形・無形の文化財には、それぞれ未来の佐伯を描くヒントがあると思うから 	<ul style="list-style-type: none"> ・大切にしていけるべき物と、壊して無くしていけるべき物の2通りがあると思う ・人口減少をどうするかの方が重要であると考えてる ・税金の使い道は他が先である ・歴史、文化、自然は粗末にはしないが、もっと先を見て、市、県をみて、世の中の流れを見て、佐伯市を発展させる事を考えて実行していく事が重要だと思う ・自分の生活を守ることで精一杯 ・費用をかけてまで保存しなくてよい ・関心はあるが、実際に佐伯市で思いついたり、心に残るというものがないから ・若い世代が住みづらい、住みたいとあまり思わない町だと思うから

高校生の肯定的意見として、「自然が魅力である」、「後世に伝えるべきもの」、「佐伯らしさ、佐伯の誇れるもの」、「観光資源となっている」や「地域活性化に寄与する」などの意見が多くを占めた。また、否定的意見は、「興味がない」や「歴史をあまり知らない」、「時代に合わせて変化も必要」などであった。

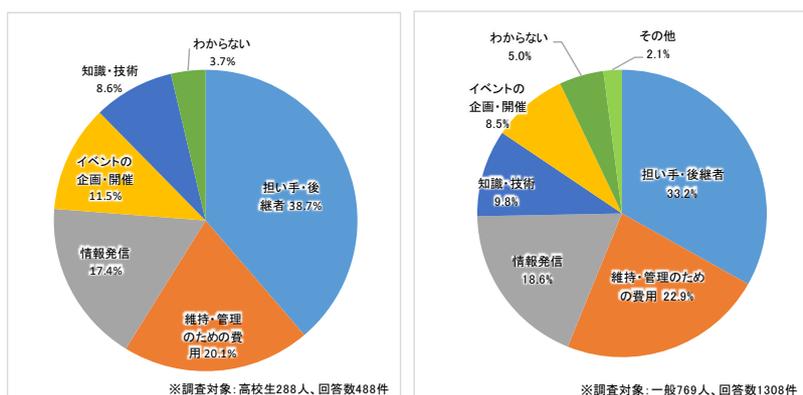
一般の肯定的意見として、「佐伯が好き、市民のアイデンティティであり宝物である」、「観光や佐伯市の活性化のために必要」、「温故知新」、「これからを担う子供たちに伝えていくべきもの」などの意見があった。否定的な意見としては、税金の使い道に関する意見や社会問題の解決が先であるとの意見があった。

問9. 佐伯市の「歴史・文化・自然」を大切にしていくために、あなたが協力できそうなことや、協力してみたいことを教えてください（複数回答可）。※小中学生用では問8



この設問に対しては、全世代でゴミ拾いや清掃活動に参加することが最も多い結果となった。また、小中学生及び高校生の若い世代ではインターネットや SNS を活用した情報発信という意見が2番目に多く、一般ではイベントや講座体験教室への参加が2番目に多い結果となった。一方、一般では小中学生及び高校生に比べて「協力できることはない」への回答者が多い割合となった。

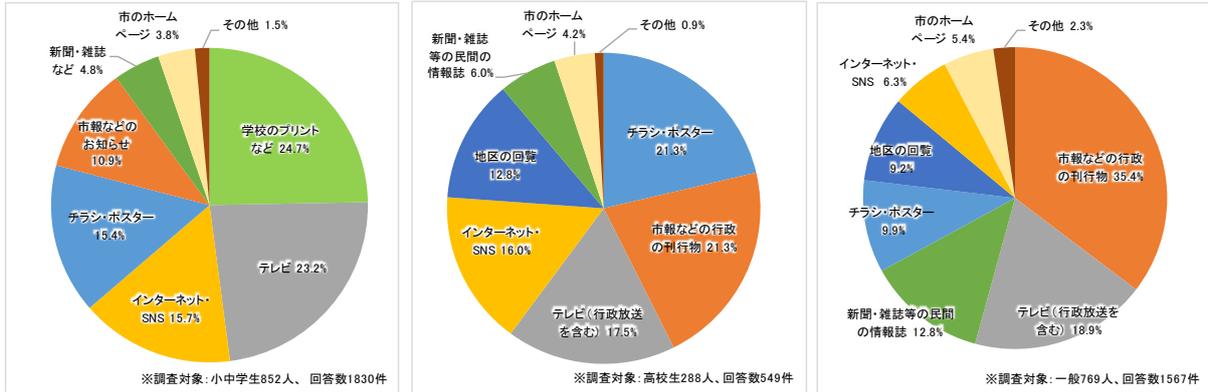
問10. 佐伯市の「歴史・文化・自然」を大切にしていくために、何が不足していると思いますか（複数回答可）。※小中学生用には設問が無いので、高校生及び一般のみの回答。



この設問に対しては、上位3項目が一致しており、「歴史・文化・自然」を大切にしていくために不足しているものに関して一定の共通認識があることが分かる結果となった。

問 11. 佐伯市の「歴史・文化・自然」に関する情報をどこで目にしますか（複数回答可）。

※小中学生用では問 9



小中学生は、「学校のプリントなど」が最も多く、学校教育との連携において情報発信することが有効と考えられる。高校生では、「チラシ・ポスター」が最も多い結果となったが、一般と共に「市報などの行政刊行物」や「テレビ」が多くを占めた。また、若い世代での「インターネット・SNS」の割合は一般よりも多いが、全体を通して紙媒体で情報を目にする機会が多い結果になったと言える。

問 12. あなたが誰かに紹介したい佐伯市の「歴史・文化・自然」は何ですか。また、その理由について、ご自由にお書きください。 ※小中学生用では問 10

佐伯市のおすすめについては、多くの意見が寄せられたため、大まかな傾向を下表に示す。結果として、全世代を通して、「城山」、「佐伯城」が大多数を占める結果となった。また、このほか「海」、「川」、「自然」という意見も多く寄せられ、多くの佐伯市民が豊かな自然やその景観が佐伯市の良さであると考えていることが分かる。

ジャンル	キーワード	小中学生(852) 高校生(288) 一般(769)			ジャンル	キーワード	小中学生 高校生 一般			
		合計	合計	合計			合計	合計	合計	
城、城下町	城山	190	51	76	公共施設	博物館	5	0	1	
	佐伯城	20	0	15		戦争	戦争	9	2	11
	櫓傘礼城	2	8	10			砲台	9	0	7
	城下町	8	3	4			防空壕	6	1	1
	ごまだし	19	9	8			資料館	16	2	4
くじゃく	1	0	1	神社仏閣	神社		26	2	13	
食	5	5	19		寺	9	0	7		
ヒオウギガイ	8	0	0		人工物	水車	9	1	2	
滝	9	3	5	灯台		7	3	5		
海	37	10	59	公園		12	6	21		
自然	海岸	6	0	29	歴史・伝統文化	歴史と文学のみ	21	9	11	
	溪谷	30	7	18		国木田独歩	10	7	3	
	自然	11	5	31		唄げんか	4	0	1	
	森	5	0	0		祭り	13	6	10	
	川	40	6	22		五丁の市	4	1	2	
	島	11	3	10		神楽	11	8	8	
	林	2	0	2		毛利			5	
	尺間山	8	1	5						

問 13. 佐伯市の「歴史・文化・自然」を大切にしていけるために向けたアイデアなど、ご意見があればご自由にお書きください。

※小中学生用には設問が無いので、高校生及び一般のみの回答。

(対象分野が広範囲に及び、回答も多岐にわたったため、割愛させていただきます)